

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 431



記者会見後の27Sクルー（(左から)フォッサム、ヴォルコフ、古川宇宙飛行士）（出典：JAXA/GCTC）

トピックス

古川宇宙飛行士ら 27S クルーは打ち上げに向けた最終試験に合格

5月14日、古川宇宙飛行士は、ソユーズ宇宙船(27S)の打ち上げに向けてロシアのガガーリン宇宙飛行士訓練センター(GCTC)で行われていた宇宙飛行士訓練の最終試験に、マイケル・フォッサム、セルゲイ・ヴォルコフ両宇宙飛行士とともに優秀な成績で合格しました。

5月16日、GCTCで行われた27Sクルーの記者会見で、古川宇宙飛行士は「素晴らしい仲間と一緒に宇宙でいい仕事をした」と国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在に向けた抱負を語りました。また、東日本大震災の被災地に向けて「1日も早い

復興を願っています」と励ましのメッセージを送りました。

今後、古川宇宙飛行士ら27Sクルーは打ち上げが行われるカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地に移動し、打ち上げに向けた最終準備に入ります。

古川宇宙飛行士がISS長期滞在中に行う「宇宙医学にチャレンジ!」および「宇宙ふしぎ実験」について、皆様からご応募頂いたアイデアの中から、実施テーマを各10件ずつ選定しました。古川宇宙飛行士はTwitterで「興味深いテーマばかりで、実施が楽しみです」と語っています。

また、古川宇宙飛行士との交信イベント参加団体の募集を開始しました。イベントでは、ISS長期滞在による医学的な知見が高齢者の健康増進や寝たきりの防止に役立つことを、医師である古川宇宙飛行士との対話などを通じて紹介します。皆様のご応募をお待ちしています。

Website info

古川宇宙飛行士の「宇宙医学にチャレンジ!」と「宇宙ふしぎ実験」のアイデア選定結果の発表
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/exp2/
古川宇宙飛行士との交信イベント参加団体募集
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/bosyu.html
古川宇宙飛行士Twitterで最新情報をチェック!
http://twitter.com/Astro_Satoshi

インフォメーション

平成 23 年度第 1 回宇宙医学生物学研究ワークショップ参加者募集締め切り迫る

国際宇宙ステーション(ISS)と「きぼう」日本実験棟を利用した宇宙医学生物学研究で得られた研究成果を社会に還元することを目的としてワークショップを開催します。平成23年度第1回目のワーク

ショップは「免疫低下からあなたを救うには? ~宇宙飛行士から高齢者まで~」をテーマに、5月24日に開催します。

参加は無料ですが事前申し込みが必要です。締め切りは5月20日です。申し込

み方法などはホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

Website info

平成23年度宇宙医学生物学研究ワークショップ開催
http://iss.jaxa.jp/topics/2011/04/igaku_ws_fy23.html



芸術利用テーマ「オーロラオーバル Spiral Top」を実施

「きぼう」日本実験棟船内実験室では、5月12日、文化・人文社会科学利用パイロットミッションの第2期テーマのひとつである「オーロラオーバル Spiral Top」(代表提案者：逢坂卓郎筑波大学教授)が実施されました。

「オーロラオーバル Spiral Top」は、LEDによる点光源と線光源をアームにも

つコマを無重力環境で回転や並進運動をさせることにより、点と線によるオーロラのような光跡を発生させるライトアートです。「きぼう」運用管制室で実施状況を見守った逢坂教授は、「おかげさまで想像した成果が現れたようで、ビデオを見るのが楽しみです」と語りました。

「きぼう」船外実験プラットフォームで

は、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

「オーロラオーバル Spiral Top」が実施されました
http://kibo.jaxa.jp/experiment/news/110513_spiral_top2.html

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

STS-134 ミッションの状況

エンデバー号の打ち上げ成功、STS-134 ミッション開始

スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) は、5月16日午後9時56分に NASA ケネディ宇宙センター (KSC) から打ち上げられました。

エンデバー号は5月18日午後7時15分に国際宇宙ステーション (ISS) にドッキングし、ペイロードベイ (貨物室) に搭

載された宇宙の暗黒物質 (ダークマター) などを探索するために宇宙空間を観測するアルファ磁気スペクトロメータ (AMS-02) と、曝露機器の予備品などを搭載したイクスプレス補給キャリア 3 (ELC-3) を ISS に設置する作業などが開始される予定です。



エンデバー号の打ち上げ (出典: JAXA/NASA)

今週の国際宇宙ステーション



最初のISS構成要素打ち上げから 4561 日経過

クルーはエンデバー号の到着に向けた準備などに忙しい日々を過ごす

第27次長期滞在クルーは、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) の到着やソユーズ宇宙船 (25S) の帰還に向けた準備などに忙しい日々を過ごしました。

コンドラティエフ、コールマン、ネスボリ宇宙飛行士は 25S に搭乗し、5月24

日に地上へ帰還する予定です。帰還予定日はエンデバー号が ISS にドッキングしている期間にあたり、スペースシャトルのドッキング中にソユーズ宇宙船が ISS から分離・地上へ帰還するのは ISS 史上初めてのことになります。その後、6月10日に古川宇宙飛行士ら新たな長期滞在

クルー 3 名が ISS へ到着する予定です。

Expedition 27 Crew

ISS 滞在 150 日経過
 ドミトリー・コンドラティエフ (コマンダー、ロシア)
 キャスリン・コールマン (NASA)
 パオロ・ネスボリ (ESA)

ISS 滞在 41 日経過
 アンドレイ・ポリシェンコ (ロシア)
 アレクサンダー・サマクチャイエフ (ロシア)
 ロナルド・ギャレン (NASA)

more information



- ▶ 古川宇宙飛行士長期滞在ミッション、ライブ中継先を募集 (5月27日(金)まで)

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/news/live_application.html

古川宇宙飛行士が搭乗するソユーズ宇宙船の打ち上げ、ISS 入室の様態などのライブ中継映像を配信していただける配信協力先を募集しています。

- ▶ 筑波宇宙センターにて春の企画展「今昔物語～ガガーリン有人宇宙飛行 50 周年と古川宇宙飛行士～」開催 (7月上旬頃まで)

http://www.jaxa.jp/visit/tsukuba/topics_j.html

ロシア (旧ソ連) の有人宇宙開発をテーマに、ソユーズ宇宙船の帰還カプセルの実物大模型や旧ソ連時代の宇宙食、ロシアの通信社ノーボスチからご提供いただいた有人宇宙開発初期の貴重な写真の数々など、普段は展示していない貴重な展示物を特別に公開します。皆様のご来場をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第431号

問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。